

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2025年11月22日

事業所名: 放課後等デイサービスえーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7	1		庭や静養室等を使用し、分散した空間の確保をしている。	31	1			室内において雨天の場合の空間の使い方の工夫をしていく。 十分なスペースが取れるようにおもちゃの配置を考えていく。
	2 職員の適切な配置	6	2		勤務形態表や配置確認グラフを作成し適切な人員配置を行っている。	30			2	現場では職員の在室場所により連携が難しいところがあるので、声掛けをしながら確認を取っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	7	1		駐車場から玄関までの階段をなくしている。玄関や廊下に手すりを設置している。	29			2	スタッフが視覚支援カードを携帯し、分かりやすい情報伝達を図っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	6	2		掃除のチェックリスト表を作成し、心地よい場所作りを心掛けている。	31			1	引き続き環境の整備や整理整頓に努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	8			定期的に研修訓練を行い、職員が参画している。朝礼やケース確認等のミーティングを行っている。					月間目標等、個々で設定し、ミーティング時に振り返りや共有を図っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施				第3者による評価は行っていない。					検討中
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8			内部研修や外部研修を定期的に行っている。					支援に関する研修に加え、支援者としての価値観を培うための研修を取り入れていく。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8			スタッフ間で確認を行いながら作成し、ホームページで公表している。	31	2		3	引き続き、掲示やお知らせ等で周知していく。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8			アセスメントツールに基づき定期的に見直し、目標設定をしている。	31			1	引き続き、アセスメントを行い保護者、児童の意向を含め計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8			5領域に基づき設定している。スモールステップで支援内容を記載し評価振り返り等を行っている。	31			1	引き続き、ミーティングや記録等で情報を共有し、本人に合った具体的な支援内容を設定していく。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	8			日替わり活動や課題遊びを通して、個別活動や集団活動を組み合わせた計画を作成している					引き続き、個別や集団での活動について計画していく。
適切な支援の提供 (続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8			毎日のミーティング時に短期目標長期目標のための支援の確認し、情報共有を図っている。	31			1	引き続き継続していく。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	6	2		前回の利用状況を確認したうえで立案を行っている。					引き続き継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6	2		ミーティング時や前回の利用状況等を把握し立案を行っている。	25	5		2	引き続き継続していく。また環境等の変化にも気を付けていく。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	1		課題遊びや日替わり活動等を実施。休日や長期休暇は外出活動を取り入れる等の工夫をしている。					引き続き事前準備を行いスケジュールを決めていく。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7	1		朝礼時にその日の支援内容やスケジュールの確認を再度行っている。					引き続き行っていく。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	2		支援終了後その日の気づいたことや振り返りを行い、今後の対応について共有している。					引き続き行っていく。ケース記録やヒヤリハット等も積極的に活用していく。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8			タブレット記録の後、確認を行い、追加等があれば手書きで加えている。管理者による記録の確認。終礼時に検証・改善を行っている。					引き続き継続していく。
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7	1		定期的にモニタリングを行い保護者の意向を確認したうえで計画の見直しを職員間で検討し支援計画の見直しに反映させている。					引き続き継続していく。またミーティング時等に見直しの必要性を話し合っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	2		担当者が活動時の様子を記録としてまとめたり職員間で気になる事等を確認し合ったりして事業所内での共通の認識を持った上で、会議に参加している。					引き続き継続していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	8			支援会議等での引継ぎや市のニコニコファイルでの情報共有を行い円滑な移行支援を行っている。					引き続き行っていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8			支援会議等での引継ぎや市のニコニコファイルでの情報共有を行い円滑な移行支援を行っている。					引き続き行っていく。また必要に応じて保護者との面談を行っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	8			支援会議等で関係機関との連携を行っている。また、支援センター主催の研修等にも参加している。					引き続きセンターや専門機関との連携を取っていく。また研修においては支援に差し支えない範囲で研修受講や資格取得に努める。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	6	2		児童館や地域の公園等で一緒に遊ぶ機会がある。また地域の施設等の見学や体験の機会や行事等への参加機会を設けている。	15	1		15	引き続き行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	6	2		イベント行事において協力をお願いしたり、ボランティアをお願いしたりしている。地域の方がハロウィンのお菓子配りをしてくれた。					引き続き行っていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8			契約時に丁寧な説明を行っている。また法改正による変更点は機関紙やお知らせ等を使い説明している。	32				引き続き契約時や変更の都度説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8			契約時や見直し時には説明をし署名を頂いている。	32				引き続き行っていく。必要に応じてモニタリング時にも説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	7	1		保護者会等で行った。高学年児童の保護者に対して、進路についての研修を行った。	19	3	1	9	引き続き行っていく。参加を促していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8			連絡ノートや送迎時に活動内容や気づいたこと、その日の様子を伝えるようにしている。また必要に応じて電話で様子を伝えたり、自宅や学校での様子を聞いたりして共通理解を持てるようにしている。	27				引き続き保護者との情報共有を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8			同上に加え事業所内相談等をう。また保護者会や懇談会等を行い相談に応じている。	27				引き続き子育てサポートを行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	8			2か月に1回ペースで保護者会を行っている。	23			4	引き続き行っていく。機関紙等で参加を呼び掛けていく。ボランティアや親子参加の機会を今後行っていきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			事業所の玄関に苦情箱を設置している。マニュアルや報告様式等を整備し、迅速に対応できるよう努めている。	24			3	苦情対応や苦情箱についての周知を徹底していく。また、苦情でなくても気軽に相談できる雰囲気作りを行っていく。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8			視覚ツールの使用や個別対応等を行っている。送迎時に様子を伝えたり、連絡ノートを活用したりしている。	26			1	視覚ツールの使用頻度を増やし、情報伝達の工夫を図っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8			えーるたより、室内掲示、SNSでのお知らせ、インスタ等活動の様子を発信している。	26	1			引き続き行っていく。写真の配布も引き続き行っていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	8			職員入社時に誓約書を記入。また定期的に講師を呼び研修を行っている。	26			1	引き続き行っていく。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8			玄関の目につくところに掲載し、職員保護者に周知している。	25	1		1	引き続き周知を促していく。また機関紙にも定期的に掲載していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			毎月避難訓練を行っている(いろんな場合を想定)。年1回引き渡し訓練。初期消火等の定期的な職員訓練を行っている。	25			2	児童職員での訓練は定着している。引き続き行い防災に関する意識を高める工夫をしていきたい。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	8			アセスメントで確認している。薬の服用時、内容の変更時は様子を含めて情報を共有するようにしている。またてんかん発作があった場合は記録をとり、保護者に詳細を伝えている。発作が多い時期は保護者様や学校の先生と様子を伝え合って情報を共有している。	25			2	引き続き児童の状況変化に合わせての情報共有を行い、緊急時に対応できるよう研修訓練を行っていく。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	8			契約時やアセスメント時に確認を行っている。現在医師の指示書が必要な児童は利用がない。					引き続きアレルギーに関してはアセスメント時にしっかり保護者に伺い、職員間で共有していく。
	5	安全管理の徹底	8			研修・訓練を定期的に行っている。また必要に応じて考えられる状況に関しての対応をシミュレーションしている。	24			3	引き続き広範囲において安全管理の徹底を行っていく。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	8			玄関の目につく箇所に掲示したり、定期的にお知らせを行っている。	23	1		3	引き続き行っていく。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8			ミーティング時や研修等で再発の防止のための話し合いを行い情報共有に努めている。					引き続き行っていく。また3事業所間の情報共有も引き続き行っていく。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8			年間計画に基づき研修を実施している。虐待防止委員会を設置し、研修やチェックシート、3事業所間の情報共有等を行っている。					引き続き行っていく。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	8			契約時に説明を行い十分に説明したうえで同意書を頂き支援計画に記載している。また利用ごとにカンファレンスを行い身体介助に向けた検討を行っている。職員にむけた研修訓練等もしている。					引き続き行っていく。